（款）45土木費　　（項）20都市計画費（目）5都市計画総務費

◎交通政策の経費

交通体系整備事業　【　交通政策課　】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

総合交通：人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象　市民等

意図　安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果　公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【事業の内容】

(1)　交通体系整備事業

・「歩行・居住環境の向上策」を具体化するために、自治町内会や商店会等で構成する「今小路通り歩行者尊重道路専門部会」を開催し、検討を行った。

・ノンステップバス5台の導入に対し、補助金を交付した。

・北鎌倉駅周辺のまちづくりについては、駅施設のバリアフリー化を中心に、JRとの協議を実施し、駅周辺の整備を含めて地元との懇談会を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

北鎌倉駅周辺のまちづくり（5－2－2－③）

地区交通計画の策定（5－3－1－①）

オムニバスタウン計画の推進（5－3－2－①）

歩行者尊重道路の整備（5－3－3－①）

【事業費】　（単位：千円）

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,275	10,375	4,227		6,148

主な支出内訳

・交通体系整備事業

交通政策専門員謝礼	187
地区交通計画調査委託料	0
北鎌倉駅周辺まちづくり基本構想策定委託料	0
交通社会実験業務委託料	0
鎌倉市バス利用促進等総合対策費補助金（ノンステップバス購入補助）	4,040

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名　称	■サービス部門 □支　援　部 門	都整-21　交通体系整備事業	
事務事業 単　　位	ザイムスコード及び個別事業名	1030地区交通計画策定事務	
		1030ミニバス路線新設促進事務	
主管課	交通政策課	関連課	
分野名	総合交通		
目標 （目標値）	古都鎌倉の歴史的資源・良好な環境を活かしつつ、交通体系の改善に向けた取り組みを進める。		

人口等のデータ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備　考
	人　　口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日
	世　帯　数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯	
運営資源状　況	決算値	4,227千円	7,567千円	6,253千円	
	（国　・　県）				
	（負担金等）				
	（一般財源）	4,227千円	7,567千円	6,253千円	
	人員配置数	3.0人	3.8人	4.4人	
	人 件 費	28,505千円	34,996千円	40,640千円	
	協　働　の　パートナー	鎌倉市交通需要マネージメント調整会議	鎌倉市交通需要マネージメント調整会議	鎌倉市交通需要マネージメント調整会議	
事務事業運営経費	総事業費	32,732千円	42,563千円	46,893千円	
	市民1人当りの経費	185円	242円	268円	
	対象者1人当りの経費				

20年度事務事業の変更点（新規・廃止・縮小した個別事業）/事業仕分けの視点による妥当性の評価

個別事業名	変更額（千円）	事業の変更点・変更理由	妥当性※

※妥当性の評価
① 必要性なし
② 民間
③ 国・県
④ 現行どおり(鎌倉市)

指　標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(22年度)
ノンステップバス導入における補助	◎	目標値	5	5	4	5	5
		実績値	5	5			
指　標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(　年度)
乗合タクシーの導入	△	目標値					
		実績値					
指　標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(　年度)
歩行者尊重道路の整備計画の策定(今小路)	△	目標値					
		実績値					
指　標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(　年度)
		目標値					
		実績値					

評価　◎：目標を達成　○：目標に向かって前進している　△：横ばい　×：後退している

ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

団体名									

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	（20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか） ・ミニバス路線の新設や乗合タクシー導入等について、交通事業者等の理解が得られない。 ・歩行、居住環境の向上策を検討するため、「今小路通り歩行者尊重道路専門部会」において、交通社会実験を計画したが、様々な意見があり、実施に至らなかった。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	（課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか） ・関谷新町地区での、地元と福祉施設の連携した交通確保策の支援を行い、地域交通の確保ができた。 ・今小路通り歩行者尊重道路の推進において、交通規制を含む交通社会実験の実施には、地域の理解と協力が必要不可欠であることから、協議・調整を行い、実験実施の可能性を模索した。
	未解決の課題・問題点	（20年度事務事業の取組において対応（解決）できなかったものはどのようなことですか） ・交通不便地域の解消を図るための地域の需要に見合った公共交通等の導入する。（大町地区の乗合タクシーの導入等。） ・今小路通り歩行者尊重道路の推進のための交通社会実験を実施する。
	今後の方針 （対応・改善）	（上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応（改善）していきますか） ・大町地区での乗合タクシーの導入については、関谷新町地区での手法を踏まえ、地域に見合ったシステムの検討をする。 ・今小路通り歩行者尊重道路の推進については、専門部会での検討結果を踏まえ対応する。

一次評価（課長評価）

今後の方向性	A:充実又は拡大　C:統合又は縮小　E:事業完了 B:現状のまま継続　D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	・交通不便地域の解消のためには、様々な手法を含め今後も検討する。 ・今小路通りの歩行者尊重道路の整備計画（案）の策定に努めると共に、整備計画（案）を尊重しながら、事業展開を目指す。		
担当課長氏名：	交通政策課長　高橋　一也		

二次評価（部長評価）

今後の方向性	A:充実又は拡大　C:統合又は縮小　E:事業完了 B:現状のまま継続　D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	・本市の交通問題解決のためには、地域に根ざした交通体系の確立が必要であることから、今後も十分な協議・検討を、市民、商業者、交通事業者等と行い、交通体系の改善・整備に努める。		
担当部名	都市整備部	部長名	高橋　洋